

◇競技上の留意点◇

- 1 競技はすべて、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則及び申し合わせ事項による。リベロプレーヤーは試合毎に2名まで登録することができ、別に定めた宮城県中体連の取り扱いとする。
- 2 競技は3セットマッチとし、トーナメント戦とする。試合日程に関しては別紙に定めるとおりである。
- 3 競技は時間設定で行う。ただし、設定時間を過ぎた場合は、前試合終了後速やかに10分間程度の合同練習を行った後、プロトコールを開始する。第2試合に限っては20分間程度の合同練習時間を確保する。
- 4 設定時刻はプログラム記載時刻とする。プログラム記載時刻は、プロトコール開始時刻である。なお、連続試合となる場合、前の試合が2セットで終了したときは最大15分間、フルセットの場合は最大20分間の休憩をおいて次の試合を行う。
- 5 エントリー変更がある場合は、所定の用紙を使用し、代表者会議後ただちに各会場の競技主任に届け出ること。印刷上のミスプリントに関しても申し出ること。
※エントリー変更届の用紙は県中体連バレーボール専門部HPよりダウンロードできます。
- 6 ベンチ及びフロアーには有効に登録された監督・コーチ・マネージャー及び競技者以外は入ることができない。但し、公式練習やセット間以外は、登録選手以外の他の部員によるボール拾いは認める。
- 7 監督、コーチ、マネージャーマークは必ず左胸につけること。
- 8 試合終了後、ベンチは次の試合の準備があるので、すみやかにコートを開けること
- 9 競技場の空きコートでのボールを使用しての練習は、本部の指示に従い、当該チームにのみ認める。その際、競技者及び他の部員もフロアーに降りて、他のコートへボールが絶対流れないようにすること。
- 10 次の試合の選手、役員は試合終了のあいさつが終了するまでフロアーに立ち入らないこと。
- 11 競技の進行上、両監督の許可を得てコートを変更する場合もある。
- 12 ユニフォームについては、別に定めた宮城県中体連の取り扱いとする。

<申し合わせ事項>

- 1 参加チームは、競技場に到着次第、受付をすること。
- 2 開場時刻は、第1試合開始時刻の1時間前とする。
- 3 コート設営完了後のコート使用は、第1・第2試合該当のコートごと4チームのみ認める。ただし、第1試合プロトコール開始15分前からは、第1試合のチームのみのコート使用とする。
- 4 練習の際、アタックは同一方向へ行うなど、くれぐれも事故防止に努めること。（会場によって試合間のアタック練習を認めない場合もある。）
- 5 ベンチには競技に不要なものはもち込まないこと。また、公式練習終了後のボールかごは、競技に支障のないように置くこと。
- 6 生徒役員については次のように定める。
 - (1) 各チームは、生徒役員として「スコアラー1名、アシスタントスコアラー2名、ラインジャッジ4名、点示2名（4名）」を養成しておくこと。
 - (2) 第1試合の生徒役員は、同コートの第2試合の該当チームが行う。その後は負け残りとする。ラインジャッジ、点示、公式記録、アシスタントスコアラーを登録選手から出すこと。
※生徒役員該当チームが2チームの場合、両チームで相談し均等に生徒役員を分担する。
登録選手だけでは人数が足りない場合は、マネージャを充当することを認める。
- 7 大会期間中は、引率の教員は選手並びに部員生徒の管理掌握を行うこと。
- 8 応援に関しては、吹笛に支障を与える鳴り物の使用は認めない。
- 9 その他、記載されていない事案が生じた場合は、必要に応じ専門部で協議の上決定していく。